

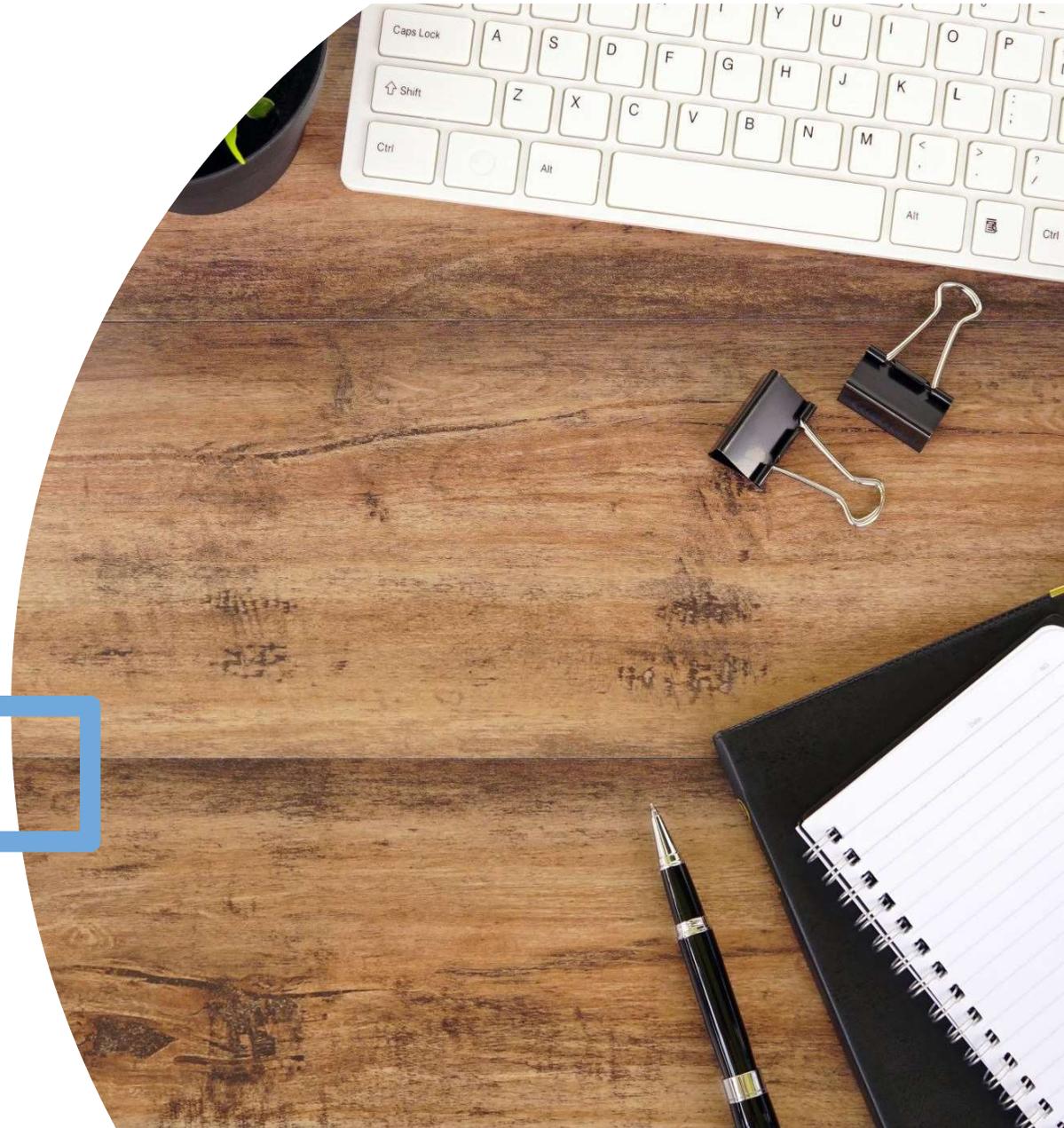
ワークサポート ケアマネジャー 活動報告

株式会社シャカリハ

三浦 浩史

(ワークサポートケアマネジャー)

活動エリア：大阪府



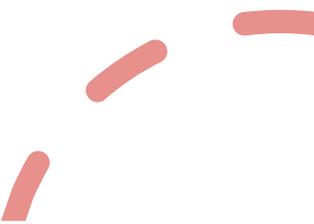
目次

1. 背景・目的
2. 活動概要
3. 活動結果
4. まとめ





1. 背景・目的

- 2018年より、企業向け介護セミナーから活動を開始する
きっかけは、知り合いのA社の社員から親の介護と仕事の両立の相談から始まりました。
 - A社は大企業であったため、全国の営業エリアごとに社員向け介護セミナーを企画しました。その中で近畿及び中国地方で介護セミナーを開催することとなった。事前に社員アンケートでニーズ把握を行いました。
 - ニーズ把握は会社が驚く結果であり、これをきっかけに会社全体で介護離職防止への取り組みが始まりました。
- 



1. 背景と目的

課題とゴール

- 営業エリア毎に、社員が抱える介護による仕事への影響を把握する
 - 営業エリア毎に、セミナーを通して介護を理由に退職せず、仕事と介護を両立できる方策を検討していく
 - 仕事と介護の両立を進めるために社内規定を社員に周知し、介護休暇・休業の利用方法を知ってもらう
 - 仕事と介護の両立を行うために、親などの介護について理解できるセミナーや個別相談を行う
 - これらにより介護離職0を目指す
- 



2. 活動概要

- **ワークサポートプラン A**

- ①アンケート：社員が抱える介護による仕事への影響を把握

- ②介護セミナー：営業エリア毎に開催

- *2つの営業エリアは毎年1回継続開催中

- **ワークサポートプラン B**

- 社員の個別相談を随時受け、仕事と介護の両立への支援を行う



3. 活動結果

<ワークサポートプランA> 介護セミナー開催

日時	対象営業エリア	テーマ	参加者数	概要
2018年4月13日	近畿	介護って何？どーするの？	45名	社員アンケートからセミナー開催を決定
2018年11月16日	近畿	介護とお金	25名	社員のセミナーテーマ希望からテーマと内容を決定
2019年4月18日	近畿	介護って何？どーするの？	50名	社員用の仕事と介護両立周知用パンフレットを担当者が作成
2019年9月10日 2019年9月17日 2019年11月6日	広島 岡山 島根・鳥取	介護って何？どーするの？	25名	
2021年4月13日	近畿	介護と仕事の両立支援 ～ワーク介護バランス～	25名	セミナー後、個別相談を受ける 個別相談は、毎回2～3名実施
2021年11月25日	近畿	仕事と介護の両立の為の介護予防 トレーニング	25名	
2022年11月22日	近畿	介護のある暮らしに「備える」 ～親のこと、それとも自分のこと？～	25名	

活動風景

山口での介護セミナー風景



参加いただいた社員の方々は、まだ家族等に介護が発生していないが事前に聞いておきたいという方から実際介護をしている方など介護の有無にかかわらず興味関心があることが伺えました。

岡山での介護セミナー風景



男性の中高年の方が多く参加されていました。役職者が開会のあいさつの際にご自身の介護体験を語られると、参加者も介護について語りやすくなりました。

活動風景

コロナ禍のためリモートで介護セミナー開催



研修に参加しにくい営業所の社員も参加できる機会となり、多くの方に参加しやすい環境を提供していくこととなった。

仕事と介護の両立を実行している社員の体験談を皆で共有



ハイブリッド研修として実施
個別相談から実際の仕事と介護の両立を実践している社員の体験談を皆で共有した。

活動風景

社内広報誌を社員が発行

Colors Press

～2021年 第1号～

第五回介護セミナー 今年はZOOMリモート開催！

お久しぶりです！かがやきPJの社内報「Colors Press」の第一号を発行します。今回は、「第五回介護セミナー」に関するご報告です。お時間のある際に是非ご覧になってください。



今年はなんとZOOMを利用したリモート開催となりました。参加者募集の時点で集まるかドキドキしましたが、京阪からは計**58名**にご参加頂きました！参加頂いた皆さまありがとうございます！

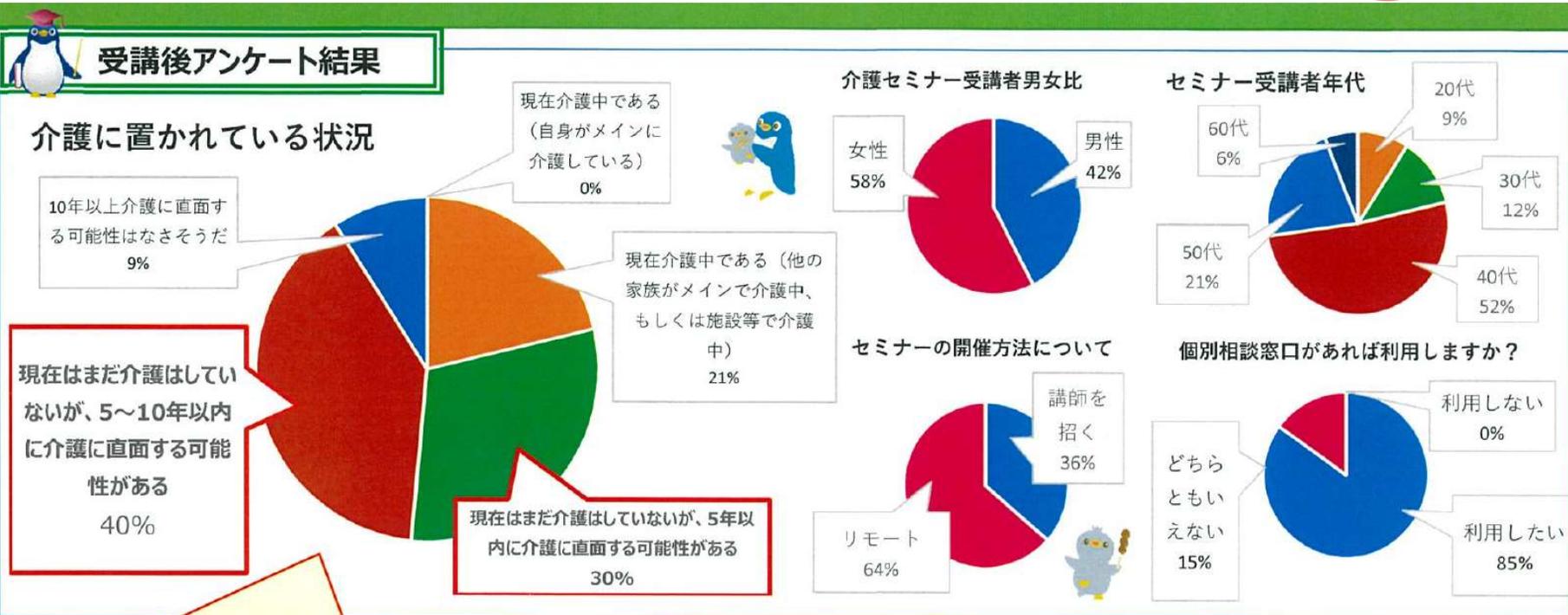
年代・役職を乗り越えてグループワーク



セミナーに参加できない方にも興味を持っていただくこと、社内の風土づくりに役立っていました。

「親に事をしていますか？」というテーマでは、年代・役職に関係なく「親のことを知らない」と介護が必要になった時に困るなど活発に意見交換され、職場内の両立への意識改革につながった。

セミナー報告 アンケート



今回の受講者は阪神京阪合わせて95名（内阪神37名）
40～50代の方が7割を超えていました。
現在はただが**5～10年以内に介護に直面する可能性がある方が7割以上**という結果でした。

介護は「いつまで続くかわからないもの」です。
三浦先生もおっしゃっていましたがまずは「**辞めずに働ける選択**」を！
国も推奨していますが、経済的にも疲弊してしまいます。
介護をしながら仕事をして、離れる時間も作る事でバランスを取りましょう！

【感想】

Zoomにて介護セミナーを受講しましたが、移動の時間ロスがないことや電話転送も最低限で済み効率的でした！
受講していない営業所のメンバーにも音声が聞こえやすかったようです。仕事を辞めてしまうと、収入も無くなるし、介護でお金はかかる…辞めずに、介護を続ける事が出来る環境になれば、良いなと思いました。
本会で受講された方は親御さんにフレイル予防のチェックシートでチェックしようと言われていました。
介護は誰の近くにもやってきます。事前に出来る事はしておこうと思いました。



介護通信作成担当：上村、大橋、長田、北井

社員アンケート結果

社員が抱える介護による仕事への影響を把握

- A社中国地方全体でアンケートを実施
- 回答数：335名

< 質問項目 >

- ①現在の介護状況
- ②介護が発生する可能性
- ③介護への不安
- ④介護が発生した場合、仕事を継続できるか？

<介護に関するアンケート>
※ Yes, No にカーソルを合わせて下さい。選択できます。
枠内は記述式です。該当の方はできる限りご記入お願いします。

1. あなたは現在、介護をしていますか？ YES / NO
・ Yes の方 → 介護の対象者は誰ですか？

親 選択	子供 選択	配偶者 選択	配偶者の親 選択	その他 選択
---------	----------	-----------	-------------	-----------

また、介護の内容について具体的に教えて下さい。
(例：介護サービスを利用している。月2回通院介助している。)

2. あなたは今後5年間のうちに、ご家族・親族を介護する可能性はありますか？ YES / NO
・ Yes の方 → 介護の対象者は誰ですか？

親 選択	子供 選択	配偶者 選択	配偶者の親 選択	その他 選択
---------	----------	-----------	-------------	-----------

3. 介護することについて、どの程度の不安を感じますか？

不安なし 0%	やや不安 25%	50%	かなり不安 75%	不安 100%

※左記を参考に %

4. 介護に関する不安は、具体的にどのような不安ですか？
該当するものを全てお選び下さい。その他に不安がある場合は下枠にご記入下さい。

金銭面 選択	手続き・相談窓口 選択	仕事との両立 選択	介護の知識 選択	自分の体力 選択	その他 選択
-----------	----------------	--------------	-------------	-------------	-----------

5. 介護をしながら、現在の勤務先で仕事を続けることができると感じますか？ YES / NO

6. あなたが介護することになった場合、どのような働き方が望ましいと思いますか？
将来介護することがないと思う方もお答えください。

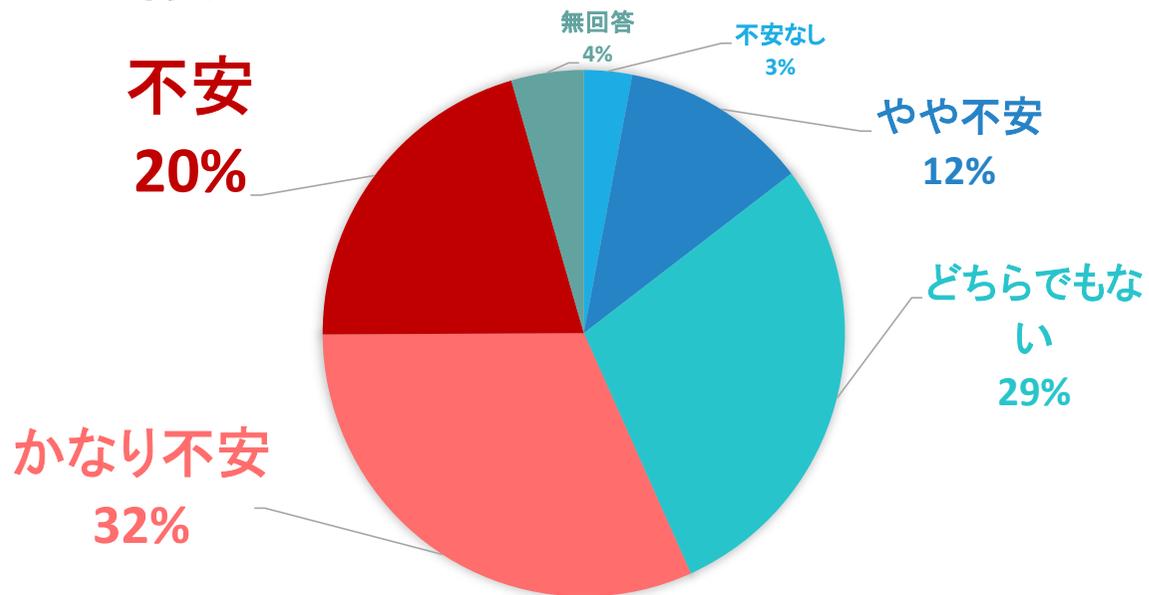
7. あなたの勤務先の介護に関する支援制度について、どの程度知っていますか？

知らない 0%	やや知っている 25%	50%	ほぼ知っている 75%	知っている 100%

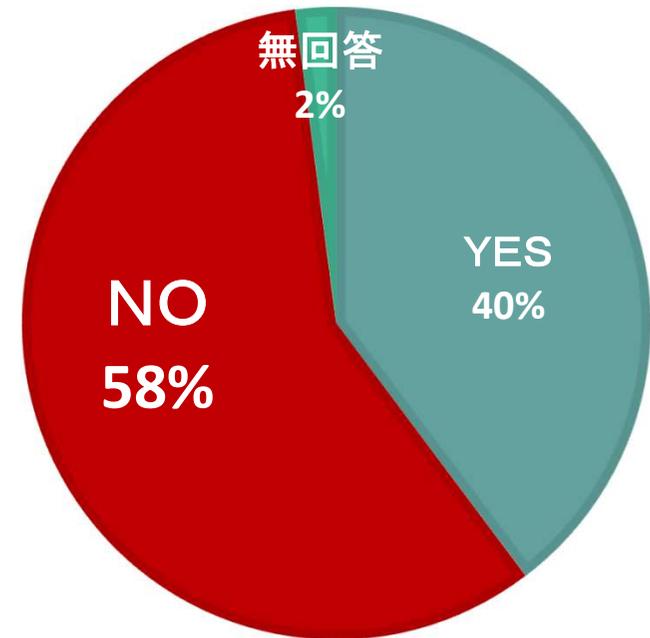
※左記を参考に %

A社のニーズ調査より ～三浦の体験より～

介護への不安があるか？



介護しながら現在の勤務できるか？



A社の社員の言葉1

営業所は、みんなぎりぎりで仕事をこなしているため、責任のないポジションにつくか長期の休職にしないと無理だと思います。

現在の仕事内容で介護をすることは不可能だと思います。仕事内容の変更や転職も視野にしないといけないと思います

営業職やサービス職となるとお客様とのアポイントや遠方での仕事など介護での急なトラブルに対応しにくい



「何もわからない事だらけなので、何が不安かもわからない」

「親が離れた県に住んでいるため、介護するとなった場合は近くに来てもらう必要がある。」

緊急時に自分の仕事を他人に任せられる環境作りが必須。

A社の社員の言葉2

職場で親の介護のことを相談しにくい。

介護はまだですが、始まるとどうなるかわからないので不安です。

親が職場に何回も電話してきて迷惑をかけているので職場に居づらい

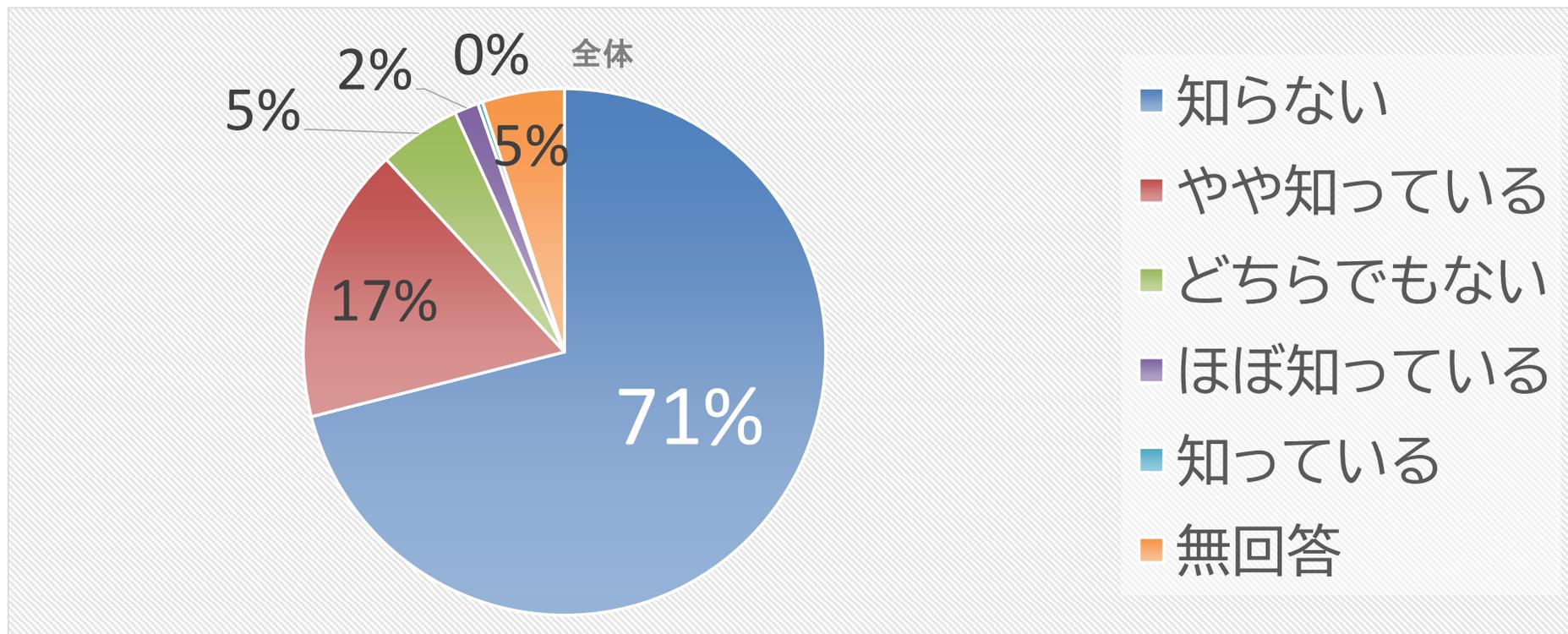


社員が不足しているのに休みにくい

重要な仕事をしているので介護を理由に休めない

職場で介護の話聞いたことがないので自分から言えない

A社の介護に関する支援制度について、どの程度知っていますか？



3. 活動結果

<ワークサポートプランB> 個別相談



基本情報	相談概要	対応
<メール相談 例1> 男性社員	要介護の父(一人暮らし) ケアマネジャーより施設入居の検討必要と言われた。その際、紹介仲介業者を紹介しますと提案頂いた。施設紹介仲介業者の流れは普通の事なんでしょうか？料金形態は？ また、施設入居の対応方法にアドバイスも合わせて教えてほしい。	両立支援プランまでは不要であるが、情報提供を行うことで解決しました。
<メール相談 例2> 女性社員	父が肺がんで入退院を繰り返し、現在入院中 病院の先生から話があり、家に戻るためにも、介護保険の申請手続きをしておいてくださいと言われたのですが、初めてのことで、どのようにすれば良いか 分からず教えていただきたいです	病院の相談先及び手続きの仕方を情報提供することで解決できました。
<個別面接 例> 男性社員 部署のまとめ役	両親2人暮らし 母親の介護を父だけでは難しくなり、ご自身が父から介護の相談を受けることから始まる。 介護保険を利用していたが、うまく機能せず男性社員が退職し介護をしようと検討していた。	個別相談の中で、介護保険の使い方、ケアマネジャーとの関係性改善、両立のポイントや職場の理解などを進めた。現在、仕事と介護を両立できている。



4. まとめ

- 社員アンケートは、社員が抱える介護による仕事への影響を数字として明確になりやすく、会社として介護離職ニーズを把握しやすい。
- 介護セミナーは、知識として介護のことを理解できるだけでなく、他の社員が介護課題を抱えていることを知る機会となり、会社の風土（社員通しで介護の話ができる風土）づくりに役立つことがわかる。また、役職者が自身の介護体験を語ることで社内で介護離職防止を進めているビジョンが伝わることがわかった。
- セミナーは継続することで徐々に仕事と介護両立のビジョンとスキームが見いだせるため、単発で終わらない仕組みの提案が必要である。

